



気の合う仲間とスポーツを楽しむ高齢者の皆さん。生きがいを持ち、人生を楽しむことが、健康的な暮らしにつながる

周りの人の影響がいかに大きいかということですね。

**北野** 親が苦労して育ててくれたという意識を、子どもに持たせることが大切ですね。

**市長** 幼児体験は体の中にしみ込んでいきますから、家庭環境がとて重要なのです。

**北野** 例えば、デนมार्クでは18歳になったらほとんど子どもが家を出ていくという風習がありますが、それまでは家庭でしっかりと教育し

ているんです。ですから、日本でも、大変かもしれないけれど行政に頑張ってもらいたい、家庭で安心して子育てができるように取り組んでいただきたいものです。

**市長** これから子ども達のための施策を厚くしていかなければいけないですね。それも、過保護にするのではなく、現実をきちんと見定められるような教育の場作りです。今の子ども達に辛さ、苦しさを教えることは学校だけではできませんから、地域社会でそれらを体験し、学べるような機会を、あらゆる子どもに作ってあげたいです。

**北野** そうですね。私のおふくろが、若いときの苦労は買ってでもしろ。」と言っていました。この歳になると、つくづくそう思います。今は5割近くが大学に行く時代ですが、高校卒業後に1回社会に出て考え、大学進学が必要だと思った人だけが進学すれば良いと思うのです。

**市長** アメリカのように一度社会に出るのですね。

**北野** そうすれば、もっと

目的意識を持った学生が増えるのではないのでしょうか。

新しい指導力としても期待されるシニア・コミュニティ・カレッジ

**北野** そういう意味で、社会人のための大学」を狭山市では作っていらっしゃるようで、素晴らしい事業ですね。

**市長** 高齢者のための大学、シニア・コミュニティ・カレッジですね。皆さんとても熱心に学んでいます。

**北野** 一般の学生と一緒に授業を受けているのですか。

**市長** そうではなくて、大学の校舎を借りて、早稲田大学の所沢校で、直接教授の講義が聴けたりしますので、カレッジの生徒がものすごく誇りを持っているのです。

**北野** 最先端の授業ですね。市長、いずれは、学生と一緒に授業を受けられるようにしたら良いと思いますよ。そうすると学生にも、とても刺激になります。修学旅行などの行事はあるんですか。

**市長** 同窓会があります。

英会話、ハンゲルの生徒は、同窓会を作って、卒業記念にそれらの国に旅行をしています。そして自分たちの国の問題を考えたり、いろいろな体験をしているようですね。

**北野** 素晴らしいですね。実は高齢になると、同居している家族の手前、なかなか旅行をしづらいようなんです。でも、シニア・コミュニティ・カレッジの修学旅行ということならば、堂々と参加できると思いますよ。

**市長** そうですね。

**北野** 生きがいにもなりまして、大学院なども作っていただくと良いですね。

**市長** 来年は卒業生が1千人を超えますから、大学院の案はすでに考えています。高齢者が本やノートを抱えて堂々と闊歩するようなまちが目標なのです。そして実は、このシニア・コミュニティ・カレッジは1年で修了するんですが、それだけでは満足できない方が多いので、その後に教育課程というのを設け、教育課程が終わった方に小・中学校で先生の補佐をしていただ

特集 市長新春対談

北野大氏と語る環境・教育

くことを考えています。そして、そういう取り組みを考えて、このたび、国の構造改革特区に手を挙げたのです。

**北野** ほう、それはおもしろい取り組みですね。

**市長** 今、学校教諭になるには資格が必要ですが、狭山市はそうでない先生も採用できるように提案しました。これからは、能力があれば誰でも採用できるようにしていきたいと考えています。そして、4月からは、希望する小学校で外国語活動を始めます。

**北野** いろいろな社会経験を持った方々でしょうから、豊かな経験を話したり、良いことですね。素晴らしいアイデアです。高齢者の皆さんの生きがいにもなるし、私も教える立場ですが、人に自分の知識を教え、感化させるというのは、最大の喜びなんです。

このシニア・コミュニティ・カレッジが一番人気があるのはどんな学科ですか。

**市長** パソコン学科です。他にハンゲルとか英会話、狭山の歴史、ジャーナル、マジック、楽農、レクリエーションがあります。

**北野** 楽農ですか、これは興味深いですね。実は私、去年の3月に、家庭菜園をやりたいと引越したんです。そして小さな庭ですが家庭菜園を作り、「北野ファーム」と命名しました。

**市長** いいお名前ですね。  
**北野** ありがとうございます。先日はタマネギを植えまして、今これがとても楽しみです。夏はナスとかキュウリ、トマトを作っています。狭山市は一戸建ても多いですし、庭も広い家が多いので良いですね。私は時間が許せばぜひ



子ども外国語キャラバン隊で外国のゲームに熱中する子ども達

この楽農学科に入りたいです。  
**市長** シニア・コミュニティ・カレッジの大学院を作った際には、ぜひ、北野先生に学長としてお越しいただきたいですね。

**北野** 大学では、実業家とか民間企業の方を講師などに受け入れて成果を上げていますから、シニア・コミュニティ・カレッジの卒業生が小・中学校で教えるというこの案は効果があると思います。

**市長** 子ども達の、先生に對する尊敬の念が今と昔では随分違いますし、先生も若い方が多いので、経験不足な

部分があります。だから新しい形で高齢の先生に教えていただければ、これまでと違う良い学習環境が築けるのではないかと思っています。

**北野** 少人数制での教育も成し得そうですね、教える方の生きがいにもなりますね。

**市長** そうです。そして自分の専門分野ですから、より一生懸命教えると思うんですよ。子ども達もきっと目を輝かせて聴き入るでしょう。

**北野** 今は、狭山市のように自治体が積極的に動いている時代です。狭山市はベッドタウンとして発展しているし、自然が豊富ですからロケーションもとても良い。こういうまちで暮らす人々が、素晴らしい施策で心身ともに健康で過ごせればいいですね。

**市長** そう、まちづくりには、すべての施策が密接に関わり合っているんです。先生、本日は貴重なご意見やアドバイスをどうもありがとうございます。

**北野** こちらこそありがとうございます。今後は狭山市に期待しています。